



食品ロスを減らすため、農林水産省などは商品棚の手前に置かれた消費期限の迫った食品を選ぶよう消費者に呼びかけている。「てまえどり」と名付けた運動で、期限切れで捨てられる食品を少なくするのが狙いだ。農水省が6月から行っており、コンビニエンスストア4社が参加している。

# 食品は「てまえどり」で 農水省など ロス削減へ呼びかけ

消費期限が近い食品は棚の手前に置かれるが、奥にある食品を選んで買う客が多いという。このため、「すぐれたるなら、手前をえらぶ。『てまえどり』にご協力ください」と書かれた表示を、おにぎりや弁当、サンドイッチの棚に貼った。農水省などによると、2018年度の食品ロスの推計値は計600万トンだった。飲食店などから出る分が324万トンで、このうちコンビニやスーパーなどからは66万トン。一方、家庭から出る分は276万トンだった。同省は飲食店などから出る食品ロスを30年度までに00年度の約半分に減らすことを目標にしている。同省の担当者は「店側の努力だけでは減らせない。(1)にも協力をお願いしたい」と話す。

「てまえどり」と名付けた運動、と記事の最初に書いてあります。見つけられましたか。

1 記事で紹介されている食品ロスを減らすための運動をなんと言いますか。5文字で書きましょう。

て ま え ど り

2 (1)に入る言葉として、適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 農家    ② 消費者    ③ ごみ収集業者    ④ コンビニエンスストア

2



なぜ「てまえどり」を呼びかけるかというと、そのままにしておくと「手前」から商品を取らずに「奥」から取る人がいるからです。奥から取る人ばかりだと、どうなってしまいますか。

コンビニやスーパーなどから出る「食品ロス」を減らすには、店側だけでなく、誰の協力が必要なのかを考えましょう。

3 なぜ、記事のような運動が必要なのでしょう。最も適切な理由を選び、番号で答えましょう。

- ① コンビニで弁当やサンドイッチを買う人を増やしたいから。  
② 棚の奥にある食品は、取りづらいのでなかなか売れなくて困っているから。  
③ 棚の手前にある消費期限が近い食品は値段が安く、人気があるから。  
④ 早く売らないと捨てることになる、手前の食品を先に買ってほしいから。

4

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

## ファミマ 8割減ロス廃棄ウナギ

コンビニエンスストアのファミリーマートは、うなぎのかば焼きなどを今年初めて完全予約制で販売したところ、廃棄した商品が金額ベースで8割減ったことを明らかにした。

### 完全予約販売で

ファミマは、7月27日の土用の丑の日に合わせて、6月上旬から7月下旬まで、かば焼き重などの予約販売を受け付けた。昨年までも予約販売は実施していたが、当日販売する商品もあった。

完全予約制にして販売額が2割ほど減り、商品を引き取りに来ない客がいたため廃棄ロスはゼロにならなかった。それでも、加盟店は廃棄に必要な費用が削減でき、利益が7割程度増えたという。

ファミマは「クリスマスケーキや恵方巻きなどの季節商品でも完全予約制を導入したい」と話している。

(2019年8月16日 読売新聞朝刊より)

「予約制」にただで、<sup>はいき</sup>廃棄がこんなに減るとはおどろきですね。

ほかに、どのようなものを「予約販売」<sup>はんばい</sup>にしたらいと思いますか。





## 学習指導要領との対応表

	読むこと	構造と内容の把握（ア）	精査・解釈（ウ）
設 問	1	○	
	2		○
	3		○